名古屋プラスチック工業展2021

9月29～10月1日 ポートメッセなごや

名古屋プラスチック工業展2021が、9月29～10月1日の3日間、ポートメッセなごやで開催される（オンライン展示は10月15日まで）。主催は中部プラスチックス連合会、（一社）中部日本プラスチック製品工業協会、日刊工業新聞社。

記事、広告掲載の出展社は、日本油機（オンライン同時出展）▽ソディック▽DJK▽天昇電気工業▽東洋機械金属▽松井製作所（オンライン同時出展）▽日本タングステン▽ホーライ▽シュトルツ（オンライン同時出展）▽春日電機。

期間中には、併催事業として特別講演（参加無料）、有料セミナーが行われる。申込みは次の公式ウェブサイトから。http://nagoya-platen.com

【特別講演】9月29日（13：00～14：30）＝カーボンニュートラル観点からの自動車用プラスチックへの期待（トヨタ自動車㈱モビリティ材料技術部永井隆之部長）▽9月30日（同）＝三菱ケミカルのサーキュラーエコノミーに向けた取り組みについて（三菱ケミカル経営執行職馬渕謙一郎サーキュラーエコノミー推進本部長）▽10月1日（同）＝プラスチック資源循環への貢献～マテリアルリサイクルとケミカルリサイクルの事業化取り組み（住友化学プラスチック資源循環事業化推進室出原克久部長）。

【有料セミナー】9月30日（13：00～16：00）＝今から始める方のためのプラスチック材料・金型・射出成形の基礎（伊藤英樹技術士事務所伊藤英樹所長）▽10月1日（同）＝CFRPと他プラスチック、競合か共存か（有限会社CAST冨田隆広代表取締役）。

なお、住友化学▽三菱ケミカル▽IPF Japan2022／国際プラスチックフェア▽日精樹脂工業▽住友重機械工業▽ニイガタマシンテクノ▽芝浦機械▽日本製鋼所▽カワタ▽ハーモ▽レイケン▽スター精機▽日本省力機械―なども出展する。

ちなみに、主催者は開催に当たり、出展、来場者等の安全確保のため、「展示会業界における感染拡大防止ガイドライン」および展示会場または関連団体が定める指針に基づき、感染対策に関する取り組みを定め、運用していく。今後、政府等から中止もしくは延期が勧告された際には、その勧告に従う。

オリジナル製品を中心に

「華飾」技術採用したOEM製品も

天昇電気

天昇電気工業㈱は、東海・近畿エリアでの事業PRを目的とし、近年注目を集めている自社商品をはじめ、受託生産しているOEM（自動車・家電・住設など）製品の展示や、長年培ってきた特殊成形技術の紹介を行う。

同社は自社オリジナル製品と高度な金型設計から成形・加工、最終アッセンブリまでワンストップでできるプラスチック成形加工の総合メーカーである。1936年（昭和11年）に創業し、木製箱・タルを国内で初めて樹脂化したプラスチック成形加工メーカー。今年で創業85年を迎え、今後もプラスチックのパイオニアとして成長を目指している。

現在の事業内容は、プラスチック射出成形を主軸とし、受託生産から自社商品の開発、製造販売まで幅広く取り組んでおり、商品企画から製品設計・金型設計・成形・二次加工まで一貫して手掛けることが強みである。

自社商品には、近年、特にゲリラ豪雨の対策として注目されている雨水貯留浸透資材シリーズ「テンレイン・スクラム」をはじめ、導電性基板ラック「テンサートラック」、導電性や帯電防止性を付与したシリーズを有するプラスチック製コンテナ「テンバコ」がある。また、感染性医療廃棄物専用容器「ミッペール」は、その使用実績から医療現場での信頼も厚く、昨今のコロナウィルスへの感染防止対策として再び注目を集めている。

射出成形事業では、グループとしてグローバルで170台を超える成形機を保有し、型締力50トンから3,500トンまでの幅広い成形品に対応している。また二次加工については、塗装・スクリーン／パッド印刷・ホットスタンプ・組立を行い、ここ数年では三次元表面華飾技術（TOM）を用いたフィルム加飾機も導入し、新事業の展開にも力を入れている。

【テンレイン・スクラム】従来の雨水貯留浸透施設の組み方と異なる独自の工法を採用しており、"テンレイン・スクラム工法"としてIT2018年2月に公益社団法人雨水貯留浸透技術協会より技術評価認定を受けている。1㎡あたりの樹脂量を低減して最大96%を超える業界トップクラスの空隙率を誇り、簡単に施工ができるのが特長。

【ミッペール】医療機関での感染性医療廃棄物や感染性一般廃棄物などの専用容器で、臭い漏れや液漏れなどに対応した設計と注射針などが貫通し難い強度を持つ。運搬時の安定した積載性能を発揮し、さらに焼却時に有害物質を発生しない等、品質や環境面、すべてにおいて安全性の高い容器として認められている。

【テンサートラック】業界No.1の圧倒的なシェアを誇り、FAラインに最適な導電性プリント基板収納ラック。デリケートな電気産業やその他あらゆる分野で、静電気破壊や静電気による腐蝕で品質が損なわれることのないよう、PPに特殊導電カーボンをブレンドした特殊素材を使用しており、基板のサイズに合わせて調整可能なスライド方式、非導電タイプや耐熱タイプなどがある。

【テンバコEDシリーズ（導電性コンテナ）】プリント基板・電子部品・液晶等を静電破壊から守る静電気除去ボックス。PPに導電材を特殊配合した材質で、表面抵抗値は10^{3}Ω以下。半永久的に導電性を保持し温度の影響をほとんど受けない。また強力性、耐食性に優れ、積み重ね式のため荷崩れの心配がない。

【テンバコEFシリーズ（帯電防止コンテナ）】半永久静電気防止の樹脂（PP、ABSベースの新素材）を応用した静電気対策ボックス。表面抵抗値が10^{11}～10^{13}Ω／㎠が要求される分野に有効。

小間No.G―9

天昇電気のブースイメージ